

⑤ [1]

… 世界市民主義と個人主義の両極端

∴ ポリス 崩壊

都市国家。自分自身がメンバーであるチーム=共同体としての国家

(1) [2] 派 祖 = [3]

「柱」→ストアー store 「お店」 ∴ 柱に屋根があり、そこで売り買いされた

1 「 [4] (理性) に従って生きよ」

… [5] 主義の [6] ([7] の克服)

パトス

2 [8] (世界市民主義) (→ 近代の自然法思想)

cf. コスモポリタン「世界市民」

(2) [9] 派 祖 = [10]

1 「 [11] て生きよ」

a [12] 主義の [13] ([14] の平安)

精神的で永続的 ∴ 欲望の制限

b 共同体としての国家の運営から遠ざかる

∴ 非政治的な個人主義

2 魂は不滅ではない

(but 死は恐くない ∴ 生きている間は死に出合わない)

… 原子論的な [15] 論 cf. デモクリトス (イオニア自然哲学者) に近い

MEMO etc.